



多文化共生時代の福祉を考える

こころの家族

No.346

2022年7・8月

7Kの幸福

コロナ禍でみんなが沈んでいるこのご時世、どうすれば弱い立場にいる人たちが喜ぶだろうか？ 近頃は、介護福祉士の仕事は【3K＝危険・きつい・汚い】だといわれている。しかし、実際そうだろうか？

私は社会福祉の現場には多くの幸せがあり、3Kではなく7Kだと思っている。『感謝・感動・感激・期待・希望・幸福・輝き』があるからだ。

コロナの感染症対策でデイサービスを休む事を決めた時、施設長が私に言った。「家にお風呂がないデイ利用者さまを施設のお風呂に入れてあげてもよろしいでしょうか」私はその心遣いにとっても感動した。武蔵野音大大学院で勉強し、大

学で教えていた韓国からの元留学生が「福祉は文化である」という当施設の介護方針に感動し、大学を辞め、ケアマネジャーの資格を取り、今施設長をしている。彼女は介護の仕事をしてから「高齢者のおいが香水に変わった」と言った。それほど高齢者が好きになったのだ。「毎年一年に一回は美しいドレスを着て歌を！」との想いから彼女の提案で始めた企画は高齢者も家族も職員も大好評。皆んな大喜びだ。

介護の現場で働く人々は優しく、高齢者の笑顔を見ることがやりがいを感じている。同じ人間として生まれて、他人の世話が出来た仕事につくことは、幸運で誇らしいことだ。現場で勤務している人たちに応援の拍手を！

社会福祉法人こころの家族
尹基 (Tauchi Motoki)



母の日を祝う (故郷の家・神戸で)

デイサービスを休止

故郷の家・介護
サポートセンター大阪



感謝の集いにて、
乾杯するご利用者のみなさん

故郷の家・介護
サポートセンター
大阪(大阪市生野
区)では、6月1
日からデイサービ
スを休止しており
ます。

1994年に開
設した同センター
では建物の老朽化
が進み、改修工事
(浴室・トイレ・屋
上外壁漏水)が必
要となったため
です。併設のケア
プランセンター並
びにヘルパーステ
ーション、在宅介
護支援センターは引
き続きサービスを
行っております。

異動

5月30日付で故郷の家の
施設長に異耕作さんが就任
しました。

異さんは故郷の家・介護サ
ポートセンター大阪や故郷の

家・京都ケアハウス、故郷
の家・東京ケアハウス施
設などを歴任、直近は
法人本部に勤務していま
した。

なお、同日付で大澤誠
さんは故郷の家の副施設
長に就任しました。

これに先立ち、5
月28日にご利用者様
と職員27名が一堂に
会して感謝の集いを
行いました。ご利用
者様は同センターで
の日々の様子を写し
た映像を見ながら慣
れ親しんだ友との会
話を楽しみ、心づく
しのハマチの解体
ショー、にぎり寿司、
熱々の天ぷらなど心
づくしの料理に笑顔
の花が咲きました。
また、理事長から皆
様には感謝のご挨拶
がありました。

2025年度中 完成めざす

建物が大阪市立保
育所との複合施設の
ため、改修工事には
制限があります。
2025年度中の完
了を目指していま
す。

尹致浩、木浦基督教の足跡

※4回にわたって連載します

3 陽洞教会

尹致浩(ユンチホ)伝道師が所属した陽洞(ヤンドン)教会
は木浦(モッポ)港に近い小高い丘にある。1898年
(1897年説も)米国南長老教朝鮮宣教師部が派遣したユー
ン・ベル宣教師が内陸と島嶼部を行き来して布教するのに便
利な位置にある木浦陽洞にテント張りの教会を作ったのがそ
の始まりだ。1897年の開港後木浦は急速に発展して人口
が増加し、信徒が増えるに従い教会も徐々に整備され
1910年には信徒たちの奉仕で今に残る石造の礼拝堂が完
成した。京城のピアソン神学校を終えて尹致浩がこの教会の
伝道活動しながら「共生園」を運営した1928年の頃は信
徒数も多く、全羅道布教の中心地になっていたようだ。

土着儒教勢力が強くとくに西洋人宣教師の活動が難しい当時
の朝鮮地方都邑の中、木浦で基督教徒が増えたのは港町特有
の貧しい流動人口の多さと中央政府から遠く離れているとい
う伝統的な野党気質なのかもしれない(木浦は王朝時代政治
犯の流刑地)。

近代を迎えた朝鮮において基督教宣教の意味は大きい。儒
教朱子学の序列意識の中で庶民(90%が農民)から搾取し続
けた旧王朝に続き、国の主体性を奪われた日本支配。その中で、
医療、教育を整備して人心を慰撫したのが基督教だった。日
本の朝鮮併合により朝鮮総督府主導で皇民化政策が進む中、
教会と基督教系学校が民族精神の涵養の
場になる。

1919年に京城から始まった3・1独
立運動の際も陽洞教会教徒や貞明(チヨン
ミョン)女学校教職員や学生が先頭に立ち
太極旗を手に日本支配からの独立を示威
して200余人の検挙者を出している。

尹致浩も伝道中に神社参拝反対の演説
をしたため数回拘留されている。



現在の陽洞教会

「40年目の祝福の日」

佐野 良一

尹基理事長と出会い、「共生園」に纏わる尹致浩伝道師と田内千鶴子先生の事績に感銘を受けてから早や40余年の歳月が過ぎた。その間、共生園「関連資料」尹基理事長著作などの翻訳を通して尹致浩・千鶴子夫妻（理事長の

ご両親）の、即ち基督教に基づいた精神、思想におおいに触れて来て、それらを尊び崇めることはあつても、自らそこに自分の居場所を求めることはなかった。1995年に田内千鶴子先生の生涯を描いた映画「愛の黙示録」にライ



洗礼式を終えて、花束を持つ佐野さん。後列左から3・4人目に峯野龍弘・美佐子ご夫妻

ンプロデューサーとして呼んで頂き、千鶴子先生の無私の愛に深く触れて木浦近郊玉洞村の尹致浩・千鶴子先生の眠る丘の墓碑に刻まれた『詩編23』の「主は私の羊飼いの言葉に出会い、その頃から聖書に出てくる私と共に」という言葉を知り、尹致浩先生の「共生哲学」と千鶴子先生のその実践に深く惹かれ、またその

哲学を今に生かされている尹基理事長に一層の尊敬の念を抱くことになる。

その後20年以上が過ぎ、僕は突然脳内出血に倒れ車椅子生活を余儀なくされて、独り暮らしが非常に危険で困難になった。それを見兼ねた尹理事長の配慮で僕は2017年に「故郷の家」で暮らすことになった。ありがたいことに尹理事長はそこで僕に「共生園」「故郷の家」関連の執筆、翻訳の仕事を与えてくださった。「故郷の家」での安全で安心な暮らしがずっと続く筈の僕だったが、2019年膀胱癌の宣告を受けた。以降今年まで3年間に亘り、施設長以下職員の見守りを受けつつ癌治療に専念した。

そして僕はこの時初めて施設内エルシオンチャペルでの日曜礼拝に参加した。「共生園」と出会うまで40年が過ぎていた。この間尹基理事長から僕は一言も「主を信じろ」とも、「礼拝に出ろ」とも言われなかった。

僕が急に日曜礼拝に参加し始めた理由は敢えて言えば尹致浩・千鶴子先生から尹理事長に繋がる「共生の脈」の中で生きる自分の幸運への多少な

りともお礼の意味と共に、自分もその脈に繋がりたいという気持ちがあった。

4月末膀胱摘出という大手術を受けて退院の目処もつかなくなった時、病室に尹基理事長からメールが入り「君にひとつだけお願いがある。退院したら洗礼を受けなさい：40年目にして初めて理事長から聞いた福音だ。思いもよらぬこの言葉だったが、僕は躊躇することなく「はい。お願いします」と返信した。短いやり取りだったがここには2人の40年の思いが籠っていた。

その後まもなく退院日が決まり、僕は5月23日「故郷の家・東京」エルシオンチャペルで尹基理事長夫妻、多胡元喜理事、朴正米施設長臨席の

中淀橋教会峯野龍弘牧師から洗礼を受けた。峯野牧師から「今日、キリストの十字架の贖いによって罪赦され、神の子とされました」と力強く宣言され、「アーメン」と答えた。自分にこのような祝福された日が訪れるとは考えたこともなかった。

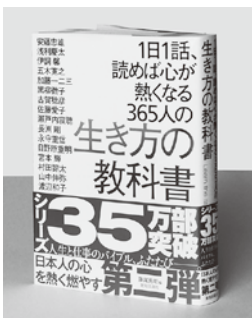
*

佐野 良一 1949年大阪生まれ。元韓国日報記者。イベントプロデューサー。映画「愛の黙示録」にプロデューサーとして参加した。

現在、「故郷の家・東京」で生活。翻訳・執筆の仕事を送つていく。5月23日、施設内のエルシオンチャペルにて洗礼を受けた。

田内基理事長のお話も

「365人の生き方の教科書」



3月に致知出版社から発行された「1日1話、読めば心が熱くなる365人の生き方の教科書」に田内基理事長のお話が掲載されています。同書は文字通り1日1話（1ページ）ずつ、各界で活躍する著名人365人の、心に残る逸話を収録した本。理事長の「孤児たちのオモニ」は「5月8日」に掲載されています。

A5判・424ページ。2350円＋税。

共生園で会った田内千鶴子先生は母に似ていた

松下裕夫さん(91歳)

今号は、故郷の家・神戸の斜め向かいにあるふれあい住宅にお住いの松下裕夫さんに登場いただきました。妻の絹代さんがデイサービスとヘルパーをご利用している縁で故郷の家とつながりができた松下さん。実はもともと縁があつたことがわかりました。現在91歳の松下さんは韓国で生まれ育ち、第2次世界大戦後、家族で引き揚げ、そして阪神淡路大震災で自宅がほぼ全壊、と壮絶な人生を歩みながら不屈の精神で強くたくましく自分の人生を切り開いてこられました。海上警備隊ではアメリカ軍と共に働き、その後朝鮮の古美術や古陶磁、茶道具などで韓国と日本をつなぐ古美術商を個人で展開している。これまでを語ってもらいました。(ふれあい住宅は、阪神淡路大震災で応急仮設住宅に住んでいた人のために神戸市が建設した住宅)



私は1930年に韓国の全羅北道裡里(リリ)で生まれ、合などで街の名前は3回変わっています。両親の本籍地は淡路島です。日本人の証しとして、歴代の総理大臣からもらった引揚者への慰労の書状があります。父の家は、兵庫県津名郡下田(現・淡路市)で5代続いた造船所の息子だった。



造船所と言っても漁船などの木船などせいぜい100トンまでの船を製造。

父は7人きょうだいの3男坊でした。時代は、日露戦争が終わった頃。海外に移民して一旗揚げるといふブームがあつたようで、家業は長男が継いだので、次男(父の兄)はブラジルへ渡り、父はその頃淡路から釜山への定期便が出航していたことから弟と韓国に渡りました。大工の腕を持つていたので食いっぱぐれないと、母と結婚後、新婚旅行気分でも渡韓したようです。

父親が韓国で興したサイダー会社

大工の仕事は評判も良かったようですが、それだけでは食べていけずあれこれと仕事をしていたと聞きました。そのうち、現地の人が生水を



「松廣」の文字が見えるサイダー工場

は清涼飲料水があまり売れないのでマッコリなども作っていた。淡路から海外に渡った人の中では早い時期に成功し、男10人に女2人と1ダースも子どもができて、私は5男です。

自宅で家族は日本語で話していましたが、私は、ほとんど朝鮮の友達の家で過ごすことが多く自然と韓国語が身につきました。小学校入学ころには韓国語を何不自自由なく話してました。

昭和16年頃だったと思うのですが、小学校の遠足か友達グループか木浦のユダルサン(儒達山)に行ったことがあるんです。木浦には土佐県人会があり、裡里には兵庫県人会があり、どちらの街も日本人会があつて交流が深かった。特にユダルサンは、子どもの遠足のメッカでした。

偶然入った共生園の庭で

その時も、ユダルサンから下山したらちょうど共生園の園舎の前でした。その時にね。



きゅうりキムチ (きゅうりカクテキ)

故郷の家・東京 管理栄養士
内藤 美幸

きゅうりキムチは夏によく食べられるキムチです。韓国ではカクテキ「오이깍두기」、オイカクテキキムチとも呼びます。しゃきしゃきとした歯ごたえが特徴です。焼いたお肉に巻いて食べると美味しく召し上がれます。

夏野菜であるきゅうりはその97%が水分でできているため、体を冷やしてくれる働きがあります。そのきゅうりと食欲を促してくれる唐辛子やんにくを使ったきゅうりキムチ



は夏の暑さに疲れた体にはぴったりの料理です。
冷蔵庫で保管すれば長くお楽しみいただけます。

材料 (10人前)

- きゅうり.....大5個
- 人参.....小1/2個
- にら.....1束
- たまねぎ.....1/2個
- 天然塩.....大3
- にんにく.....大1
- しょうが.....小1
- 唐辛子パウダー.....大4
- カナリエキス.....大2
- 砂糖.....大2
- 天然塩.....大1

} A

作り方

- ①きゅうりは6cm長の拍子切りにし、種を落とす。沸いたお湯に塩大3を入れ、火を止める。1分つけ置き、1度冷水にくぐらせる。塩大1、砂糖大1(水あめでも可)を混ぜ入れ、10分間漬け込む。水が出てきたら水切りし、塩気を抜くため1度冷水で洗う。
 - ②人参は千切り、玉ねぎはスライス、にらは2cm大、生姜とにんにくはすりおろす。
 - ③きゅうり以外の野菜とAの材料を混ぜ合わせる。なじんできたらきゅうりを合わせ、最後に胡麻をかけて完成。
- ※味が薄ければお好みに合わせて、醤油や塩で味を調節する。

「おしっこしたいー」という子がたくさんいて(笑)。引率の先生が「ここを借りましょう」となって、交渉してくれた。私は外で待ってただけで、先に行った子たちが戻ってこない。そのうち私もトイレに行きたくなって敷地に入ってみると何人かで輪を作っている。そしてその中心に子どもたちの頭をなでてるオモニがいるんですよ。そして「あなたたち、家に帰ったらお父さんやお母さんがいるでしょ?ここに住んでる子どもたちはおばさんが預かっている子でお

父さんやお母さんが居ない子たちなの。お父さんやお母さんの言うことをよくきくんですよ」と話してくれ、その言葉が今でも頭にこびりついてるんですよ。そのオモニが田内千鶴子さんでした。最近、理事長から共生園の本を頂いて何度も拝見してらんですけれど、田内千鶴子先生と私の母とよく似ててビックリしてらんですよ。少しふくらして優しい顔をして。私もきょうだいが多くて、母親にかまってももらったことがない。母と面影が似てるオモニだったか

らその言葉が忘れられないのかもかもしれません。その後、第二次世界大戦が勃発。15歳で日本への引き揚げを余儀なくされました。父は、会社が順調な時に「故郷に錦を飾る」と、自分の母のために、そして多くの人が集まれるようにと故郷の淡路に大きな家を建てました。その家が残っただけで、無一文になつてしまった。紆余曲折の後私は、神戸にあった海上警備隊(1952年、海上保安庁内に設置されていた海上警備機関)に入隊し、米軍が機

雷掃海の仕事などをし、アメリカ海軍に勉強のために入隊し、アメリカまで行きました。金山大使の事務官と親交
1965年、日韓国交が正常化され新しい転機を迎えたその3年後、第2代駐韓大使として金山政英さんが就任。私の兄の友人が事務官として抜擢されました。その人が私を可愛がってくれ、韓国との太いパイプができました。その友人のつながりと、老後の楽しみにと、古美術商をする

ことに。私自身の儲けはありませんが、紹介した人が「松下さんがつないでくれたお陰でもうかった!」と、喜ぶ人の顔見たさだけのためにやってきました。
阪神淡路大震災では、長田神社の近くの静かな住宅地・西山町の2階建ての家が崩壊。財産もなくなり、長田中学校の校庭で避難生活を強いられるなど波瀾万丈のこれまででしたが、妻と2人で、多くの人に支えてもらいながら今生活できることに感謝しています。

現場で働くことが何より楽しい

インタビュー 南谷 優子 さん

「生涯「介護職員」と決めて故郷の家創設までもない頃から介護の最前線で一筋に、現在もご利用者と向き合っている南谷優子さん。約30年間ずっと故郷の家の現場で働いてきた要因は当法人の理念「共に生きる」に尽きるそうです。2001年に故郷の家・神戸が開設した折りにも手伝いに出向き、今年3月には永年勤続表彰で表彰も受けました。故郷の家の介護の宝とも言える南谷さん。だれにでも謙虚な姿勢を崩さず、「ご利用者と居るときが一番楽しい」と、深い思いで寄り添う奥底にはクリスチャンとしての一面も。取材日も「今、入浴介助をしてきたので…」と、写真撮影を拒みながら現場なりでのお話を伺いました。



——故郷の家で仕事をするようになったきっかけを教えてください

南谷 故郷の家が創設された頃、北カトリック教会員たちで作っていたボランティアに行っていました。私はグループメンバーには入っていませんでしたがある日「1人、都合が悪くなった人がいるので代わりに行ってもらえませんか？」と頼まれて行ったことが始まりでした。

——初めてここ、故郷の家に来られた印象はいかがでしたか

南谷 とにかく明るくてビックリしました。吹き抜けの建物自体も光が入り明るかったし、何よりもご利用者が明るかった。入浴のお手伝いをさせていたただいたんですけれど、衝撃的に「わあ！私ここで働きたい」と思っています。

——え？初めて行かれて働きたいと思われたのですか

南谷 私は元々、おばあちゃんっ子でおじいちゃんおばあちゃんが大好きだったんです。ここに来て「いいな」と。ボランティアは1日だけでしたが、「故郷の家で働き手が必要ならぜひ声をかけてください」と、教会の方にお願ひしました。

——その頃、何もお仕事はされていなかったのですか

南谷 はい。小中学生3人の子育てをする専業主婦でした。

——その後故郷の家から声がかかった

南谷 ボランティアをして1年くらい経った頃かな。介護職でパートの空きがありますよ、と聞き、履歴書を出し田内総括施設長（現・総括理事）に面接してもらい働き始めました。夜勤もなく時間も短いパートからのスタートでした。

——働き始めてから印象は変わりましたか

南谷 変わりません。本当に、明るい。建物の作りもありますが、とにかくみなさん明るかったですね。しかもご利用者はほぼほぼ在日韓国の方で。日本の方は文化の違いもあって、韓国の方はハッキリものをおっしゃるし、笑い声にあふれて。怒り声もありましたが（笑）。常

にチャンゴ（太鼓）の音が鳴り、踊っている姿もあり、私はここで仕事をするのが楽しくて楽しくて。

——お聞きするだけで楽しそうです

南谷 尹基理事長は「ここは閉じ込めるために作った施設ではない。自由に生活でき楽しむ施設だよ」と。ご利用者もその人その人らしく楽しんでいま

「この仕事を始めた時の気持ち」思い出して

——若い職員さんから「南谷さんのような介護がしたい」と、南谷さんを目標にし尊敬する声を様々なところで聞きます。何か心がけていることはありますか

南谷 いや、そのように言ってもらえるようなことは何もしていないのですが、最近常と思うのは「初心に戻る」と心をかけてます。この歳になると身体的にもキツくなるんですよ。この仕事をやり出した頃のほうが優しい気持ちになれたのに、そのようにご利用者と接することができなくなっているのが分かるので「この仕事を始めた時の新鮮な気持ち」を思い出そうにしています。でも、本当の私は「介護」には向いてないと思うことが多々あります。「ダメやな」と反省ばかり。感情的になつてご利用者とけんかしたり。若い職員から本気で怒らないでください」とあきれられています。

「何もできない」という葛藤

——これまでで印象深いことはありますか

南谷 夜勤の見回りで各部屋を回ると「眠れないのでちよつと話を聞いてくれ」と呼び止められるご利用者がいらつしゃいます。「7人も子どもを産んだのに、私はここで過ごしているのが辛い」とおっしゃいます。

——南谷さんはなんと答えられましたか

南谷 ご利用者の切ない思いに「ずしん」と心に響きました。「子どもさんたちがお母さんのためを思ってここ（故郷の家）を選んでくれたんじゃないですか？ 私たち職員がいつでも家族のように一緒に居ますよ」と答えました。でもただただ聞くことしかできません。尹基理事長からは故郷（創設時はおもに韓国）に帰りたくても帰れない人のために故郷の家を建てたという想いを聞いています。

——コロナ禍中の介護はいかがでしたか

南谷 それはそれは本当にみんな必死でした。職員の家族が感染し濃厚接

た。

——措置制度から介護保健制度へと大きく変わってきた介護の流れの中で現場の最前線で働き違いはありますか

南谷 確かに次第に介護度が高い方がご利用するようになって現場の大変さは増してきたと思います。課せられることが多いですが、職員たちはそれに応じながら頑張っています。

——南谷さんが30年間も介護の現場で働き続けられた要因を教えてください

南谷 「故郷の家が好き」これしかありません。きれいなことに聞こえるかもしれませんが、法人の理念「共に生きる」という、その理念が私はすごく素晴らしいと思つて、心にいつもあります。実際に中国の方もいらつしゃいますし。世界に扉が開かれた施設で働いている誇りがあります。そして私は「故郷の家で働いている」自分が好きなんです。

——今でもその影響はありますか

南谷 あります。まだ勉強会なども開催できないでいるのと、以前はみんなが意見を出し合う時間がありませんでしたが、それが今できず、若い職員たちの意見を反映する機会がなく、士気が落ちてきた感があります。職員は皆、良い介護をしたいと思つているし、情報も共有したいと思つています。

——これまで、主任や管理職など何度か上に立つ役職を打診されながらいつも断つていたと、聞きました

南谷 私はただ単にご利用者と一緒に過ごしたいだけなんです。現場で働くことが何よりも楽しい。それに人には適材適所があると思うんです。私には一介護職員としてが適所だと思つていますし、若い人たちにそのチャンスをおあげしてほしい。

——仕事上で辛かったことはありますか

南谷 自分に能力がないこと。発想力がないこと。などなどいろんな面で自信がない。みなさんに助けられて仕事ができていることです。あと、先ほどもお話ししましたが夜勤でご利用者のお話を聞いても私には何もできないという葛藤。

おばあちゃんっ子だった

——ご出身はどこですか

南谷 福岡県です。両親とも働いていましたのでおばあちゃんに育ててもらいました。

——子どもの頃の思い出話を聞かせてください

南谷 兄と姉の3人きょうだいの末っ子で、子どもの頃は、わがままでお転婆で好き勝手なことをずつとして親に心配をかけ続けました。高校生の時は、スターの追っかけをして（笑）

——あなたのファン？

南谷 沢田研二さん。グループサウンズの全盛期で「タイガース」の頃から大

ファンで。ミラーでね。でも九州では年に1回くらいしか公演がないし、と大阪に出てきました。九州で展開したスーパードライブが大阪に支店を出すという求人が出てたのでそこに応募し大阪へきたんです（笑）。

——クリスチャンだそうですね

南谷 両親きょうだいみなカトリック信者です。私は幼児洗礼を受けて毎週日曜学校に通っていました。大阪では、北カトリック教会（堺市南区）の会員ですが、日曜に仕事もあり、ミサを守るのは1年に数日です。

——心に宗教があると強いですか

南谷 私はヤンチャでしたから、根底に神様がいてと歯止めがきく。学生時代もいろんな事をしてたけど、最終的に「これはしてはいけない」ということが心の中にあるのは神様のお陰だと思つています。仕事をしているうえでも同じで、反省をしては同じことを繰り返すんです（笑）

——ご家族は南谷さんの仕事を応援してくれましたか

南谷 私が家に帰っても「楽しい、楽しい」と言つてたので主人始め子どもたちも応援してくれました。ところが主人は56歳で病気を発病。一度は治ったんですけど10年後に再発し、必死に看護しましたが70歳で亡くなってしまいました。精神的にずいぶん頼りにしていましたが、喪失感でいつぱいでした。病気でなくてもいいから生きていてほしかったです。

故郷の家は 自慢できる施設

——生涯「介護職員」として働き続けるのが夢だそうですね

南谷 そうです。先日本当に夢をみたんです。私が2階の居室のベッドで横たわつてるんです。その私を天井の上からもう1人の私が見て「あれ？私死んだんだ。ここには帰つてこれんのや」と。慌ただしく働く同僚を見ながら「もう働けないんや」と、寂しく思っています。目を覚ましてから「いつまで働くつもりなんだろう？私」と思いましたけど、それが私の理想なんです。身体が動くうちは故郷の家で働きたいです。

——故郷の家はこれからどんな施設に発展していけば良いと思われませんか

南谷 良い介護を提供することはもちろんですが、若い働き手たちが生き生きと仕事ができる職場であつたらいいと思います。今からは若い人の力が絶対必要です。今の若い人たちはまた優しいんですよ。最近では、私がご利用者の移乗をしようとする若い職員がさつと走つてきて代わつてくれるんです。また、ここは職員同志のチームワークが良く本当に助けられて仕事できていて感謝しかありません。この施設は国際的だし、自慢していい施設です。理念から職員への介護に対する姿勢まで自慢できる施設だと大きな声で言いたいんです。

*
南谷 優子（みなみたに ゆうこ）

「故郷の家」特養介護職員。
1951年10月、山口県下関生まれ。57年福岡県に転居。69年株式会社ユニード堺東店入社。72年結婚。その後3人の子どもに恵まれる。
90年、社会福祉法人こころの家族故郷の家にパートの介護職として入職、その後正職員に。2013年定年退職後、パート勤務となり、現在に至る。

おひる

堺・大阪・神戸・京都・東京

「故郷の家」各施設のホットな話題をお伝えします

※各施設のブログもご覧ください。QRコードからどうぞ！

みんな大好き「移動パン屋さん」

故郷の家・京都では毎月「移動パン屋」と称し、「ふしみパン工房くーぺ」さんから取り寄せたさまざまな種類のパンを管理栄養士が販売しています。皆さん「待ってました！」とばかりに、菓子パン、惣菜パンなど、好きなパンを選んで、購入して行かれます。それをさつそくユニットに持ち帰り、おやつ代わりに飲み物と一緒に召し上がります。

京都はパンの消費量、日本一ということもあって、皆さん、パンがお好きです。「くーぺ」さんのパンは、どのパンを選んでも、とてもおいしくて、入居者さんまた、働く職員さんにもたいへん好評です。



ユニットごとに「母の日」の催し

5月8日は「母の日」。故郷の家・京都ではそれぞれのユニットで、入居者・利用者様が楽しめる催し物を行いました。

あるユニットでは、職員が普段とは違うおやつやジュースを購入し、入居者様がそれぞれ好きなものを選んで、楽しく召し上がったり、また、あるユニット



では、母の日カードを配って、日ごろの感謝の気持ちを伝えたり、きれいなカーネーションの花を購入し、一緒に写真を撮ったりしました。

ケアハウスでは入居者様が職員と一緒におやつ作り（パンケーキ）をして、皆さんでおいしく召し上がったりとそれぞれのユニットで「母の日」を楽しく過ごしました。

ご家族からも、個別にお花やお手紙、贈り物が届き、皆さんたいへん喜ばれているのがとても印象的でした。



京都

堺



和菓子でほっこりとしたひとときを過ごしました

国際ソロプチミスト大阪・南陵の皆さまから、ご利用者へ和菓子の差し入れを頂きました。

コロナ禍の前には、毎年2回定期的にご利用者へ抹茶をふるまうボランティアに来てくださっていたのですが、コロナ禍の中、直接の対面が困難となっていました。それでもなにかご利用者のためにできることを、定期的に和菓子の差し入れをしてくださっています。

そんな5月の暖かい昼下がり、うれしい差し入れを目の前にご利用者の皆さまもほっこり笑顔で楽しい時間を過ごされました。





東京

ユーチューブでライブ配信

スウェーデン音楽療法

5月25日、スウェーデン音楽療法の第1回ユーチューブライブ配信が行われました。初めての試みで、どうなるか心配だったのですが、多少のトラブルはあったものの何とか開催することができました。利用者さんも先生との練習に戸惑いながらも、一生懸命最後まで楽器を頑張っていました。

この企画は、今後東京で4回、関西で2回の予定で進んでいくことになっていますが、順調であれば東京においてこの先続いていくということですが。この日の様子も全施設に配信され、一般の方々も拝聴することができそうですので、新しい試みとしてはたいへん有意義なものだと考えます。これを通して、音楽を純粹に楽しんで行くことができれば、素晴らしいと思います。

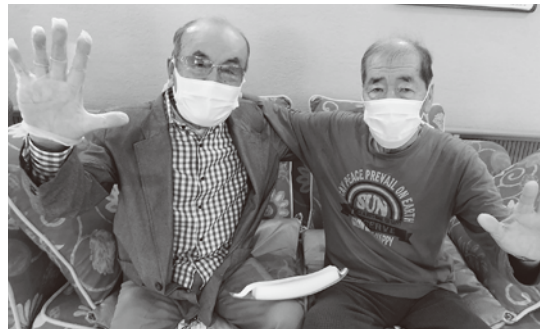


神戸



兄弟・姉妹の深い愛情

ご家族様が面会のためわざわざ京都から電車に乗って来られました。会うのは久しぶりですが兄弟愛は変わりません。カメラに向かって思わず同じポーズに！



こちらは施設で長い期間一緒に生活していらっしゃる姉妹の方です。いつも自分より姉、妹のことを考える愛情深い姉妹です。妹さんの退院を記念して「はいチーズ！」笑顔がとっても素敵です。



3月に実施した「寿司フェア」が大好評だったので、真野デイサービスでは月1回の定例行事となりました。これからもご利用者が喜んでいただける食事を企画、提供していきます。



真野デイサービスの「寿司フェア」

大阪



今日は母の日

皆さん、日頃は、体調を崩すこともなく、デイサービスをお休みされる方がほとんど無い「パワフルなお母さん」。赤いカーネーションに「いつもありがとう」の言葉と一緒に感謝を伝えました。これからもパワフルでお元気になりますように…。

ちいさな芽

こころの家族のルーツ、韓国木浦共生園やその姉妹施設の近況をお伝えします

❖ 共生園 (養護施設)

笑顔が輝いた遊園地

遊園地や動物園がある大田 O-World で未就学児7名と職員4名が久々に楽しく過ごしました。

コロナ禍で外遊びもできない頃、ある子が言った「先生、遊園地に行きたいです」という言葉をそのまま受け流すことができず、一緒に暮らす社会福祉士らが相談して大田のレジャー施設を探すことになりました。

久しぶりに天真爛漫に笑う子どもたちの姿を見れて本当に嬉しく、子どもたちにとってもプレゼントをもらったような楽しい思い出になりました。ずっと笑い声が絶えず、笑顔の一日でした。



❖ 木浦障害者療養院 (重度障害者施設)

クッキー体験 (With TOVE アカデミー)

TOVE アカデミーのご支援によるクッキー体験プログラムに参加しました。重症障害者のために講師の皆さんが調理器具などを持参して療養院を訪れてくださり、みんなで甘いひと時を過ごしました。



❖ 共生再活院 (知的障害者施設)

4月の優秀利用者表彰 - パク・ジェヒ



毎月、共生再活院の利用者の中から優秀利用者を推薦してもらい表彰しています。

今月は温厚で思いやりがあり、周りの人々を和やかにし、誠実な生活態度が他の利用者の模範となっているパク・ジェヒさんに賞状と賞品を授与しました。

愛のジャジャン麺ボランティア

5月の子どもの日に地域のふれあいを大切にしている人々が集まり、共生園の子どもや共生再活院の障害者のために皆が大好きなジャジャン麺をふるまってくれました。

コロナ禍で地域社会とのつながりが絶たれた気分でしたが、久々に活気づき、みんなで一緒に食事ができてジャジャン麺がより一層甘く美味しく感じました。地域住民の皆さんに感謝いたします。





皆様のご支援に感謝申し上げます



2022年4月・5月 寄付合計 3,386,015円

堺	636,050円	京都	1,223,000円
大阪	52,000円	東京	539,800円
神戸	10,165円	法人	925,000円

2022年4月・5月の寄付者 (敬称略)

栗原 彬	幼き聖マリア修道会	(有)テラヲ貸物店	「ハートサービス運	藤原 興
安田 明史	照屋 則子	松下 令子	動」募金箱	単立キリスト教八街グ
大島 仁	佐藤 幸男	金丸 英世	岡田 道子	レイス教会 申 鉦錫
島田 朝久	NPO法人レインボー	磯村 達三	宮崎 静子	浅野 和子
小原 武夫	協会	磯村 和子	朴 正米	申 佳子
ながやま 歯科	川本 活義	李 洋雨	星本 栄子	小林 孝志
永山 成大	藤原 一臣	佐藤 美津子	青山 洋	多田出 佳代子
(株)グローバル 代表取	小村 裕己	錦織 葆	オートプロ島田	中丸 哲夫
締役	李 守陳	任 準晩	島田 隆男	佐竹 敬
川島 忠義	中村 啓子	宮原 智文	山本 大	青木 茂
川島 順子	藤田 裕之	枝川 愛の教会	松本 光恵	上之郷 由紀子
北脇 志郎	畑 正樹	脇田 正一	松井 珍男子	鈴木 仁
北脇 要子	畑 有紀	株式会社ヤマエンター	岡 真由美	萩原 紀子
土井 康晴	山口 貞夫	プライズ	故郷の家・東京	日本キリスト教団明石
匿名希望者	星田 正雄	代表取締役	職員一同	教会
(株)京都スパーサー	金 慶光	池 正淑	故郷の家・東京	田内 文枝
坂口 伸宏	ペン株式会社	(株)スポーツ寿苑	募金箱	佐藤 隆一
田内 緑	金氏高麗人参株式会社	代表取締役	観寺 伊津美	佐藤 博子
李 善恵	金山 委智夫	鄭 貞子	小林 四郎	岡本 正敏
サトウタマキ	河本 八重子	多胡 元喜	夫 昇培	

2022年4月・5月の寄贈者 (敬称略。すべての方のお名前を記しているわけではありません。ご了承ください)

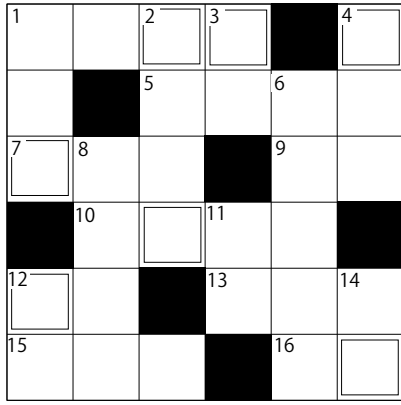
■故郷の家(堺) 原田 洋子ご家族 小路 ヒサエご家族 張李 瑞貞ご家族 着本 アサ子ご家族 関 裕敬ご家族 今吉 建郎ご家族 寺谷 壽美江ご家族 加藤 健司ご家族 新居 正子ご家族 大林 成子ご家族 金 鳳珍ご家族 国際ソロプチミスト 大阪・南陵 あゆみ介護センター キングラン関西 永山歯科	永山成大 米田 眞理子 ■故郷の家・大阪 山本 榮児ご家族 ■故郷の家・神戸 金光 永文 岩本 絹子ご家族 金谷 小香ご家族 森鼻 正夫ご家族 嶺山 廣慶 (株) 平安 伊藤 可寿子ご家族 呂 錦順ご家族 川口 慶子 松下 裕夫	淡田 眞美子ご家族 たから保育園 金 泰淑 ご家族 藤田 チエコご家族 秋 且善ご家族 西山 眞佐子ご家族 片山 妙子 土井 皓介ご家族 (株) 三國製靴 ■故郷の家・京都 豊田 初子ご家族 南 奇順ご家族 栗原 美代子ご家族 池下 幸美ご家族 土方 繁一ご家族 河本 澄子ご家族	澤田 千代ご家族 原田 光子ご家族 李 海順ご家族 金本 穂子ご家族 安田 照子ご家族 松本 花子ご家族 古川 友子ご家族 鄭 英道ご家族 蔡 光浩 ネットワークハナ 金順愛 ■故郷の家・東京 佐藤 那可子ご家族 長谷川 和江ご家族 藤田 督子ご家族 玄 春河ご家族	安 江一ご家族 松島 れい子ご家族 金 碩震ご家族 家室 清子ご家族 齋藤 實ご家族 金 淑貞ご家族 青木 信子ご家族 米田 勝二ご家族 細川 敏子ご家族 柳澤 たけ子ご家族 奥山 瞳ご家族 神戸 旬代ご家族 (株)東テスティバル ポスコ・ジャパン(株)
--	--	--	---	--

2022年4月・5月の来訪者・ボランティア (敬称略)

■故郷の家(堺) 新型コロナウイルス感染予防のため、ボランティア様の受入れ中止。	■故郷の家・大阪 ボランティア様の受入れなし。	■故郷の家・神戸 大園共基 (※元職員ボランティア)	■故郷の家・京都 横尾 幹江 (※職員ボランティア) 矢田貝 縫子 (※職員ボランティア)	■故郷の家・東京 新型コロナウイルス感染予防のため、ボランティア様の受入れ中止。
--	-----------------------------------	--------------------------------------	--	--

◆ クロスワードパズル ◆

二重マスの文字を組み合わせてできる言葉を答えてください。
【ヒント】天気予報が気になります
 ※前回の答えは「コクサイレンゴウ」でした。



- ↓ **タテのカギ**
- ① 以前は「キエフ」という名前で知られていました。
 - ② 18歳で…。
 - ③ まな、—の間の。
 - ④ 室町時代、父の観阿弥とともに能を大成した。
 - ⑥ 道路や線路の上にかけた橋。
 - ⑧ 虹の色は…。
 - ⑩ 竣工—、卒業—。
 - ⑫ 夢を食べるといわれる動物。
 - ⑭ スチールやアルミでできています。

→ **ヨコのカギ**

- ① 惑星の1つ。
- ⑤ 長靴の形の国。
- ⑦ 首の後ろの部分。
- ⑨ 「—を憎んで人を憎まず」
- ⑩ — ↔ 硬式
- ⑫ 半沢直樹のセリフ「やられたらやり返す、—返しだ!」
- ⑬ 願いを聞き届けること。
- ⑮ 若いうちの—は買ってでもせよ、とか。
- ⑯ —を天に任せる。

● **プレゼント** ●



正解者の中から1名さまに、スマホがびったり入るサイズの韓国製ポーチをプレゼント。真っ赤な地に花柄が美しい布製です。
 応募は、はがきにクロスワードパズルの答、住所・氏名・電話番号をお書きのうえ、〒590-0142 堺市南区檜尾3360-12「故郷の家・クイズ係」まで。8月10日締め切り。
 本誌をお読みになった感想、メッセージなどもどうぞお書き添えください。

在日韓国老人ホームを作る会の働きにより「こころの家族」が誕生しました。

発行人：田内文枝 編集人：尹基 編集：多胡元喜、佐東まゆみ
 法人本部 〒590-0142 大阪府堺市南区檜尾3360-12
 ☎072-271-0881 Fax 072-271-5474
 http://www.kokorono.or.jp
 E-mail: kazoku@kokorono.or.jp



ようこそ こころの家族へ

こころの家族は、韓国の地でキリスト教精神に基づき、愛の生涯を全うした田内千鶴子の志を受け継ぎ、民族・文化を越えて高齢者、児童、障害者と共に生きる社会づくりを目指します。

ご参加ください

- A) 愛の寄付金 自由な金額
- B) 賛助会員月 1,000円(年1万2千円)
- C) 留学生支援 月5,000円(年6万円)
- D) 1%会員 (所得、売上、祝儀、遺産、感謝)
- E) 1坪会員 35万円(堺)、45万円(神戸)、30万円(京都)、100万円(東京、大阪)
- F) 建設会員 100万円
- G) 名誉会員 1千万円

海外協力事業

こころの家族は韓国尹鶴子共生財団が支援する、下記の施設運営および事業に協力しています。
 共生園、共生再活院、木浦障がい者養護院、イエソン自立院、務安自立院、全羅南道家庭委託支援センター、国連世界孤児の日制定推進運動

ご送金の方法

- 郵便振替 □ 口座番号：00940-0-329280
 加入者名：社会福祉法人こころの家族
- 銀行振込 銀行名：三菱UFJ銀行
 支店名：光明池支店 普通 1052623
 □ 口座名義：社会福祉法人こころの家族

寄付申込書

年 月 日

* 寄付申込書は下記まで FAX で、または郵送でお送りください。

FAX 072-271-5474

ふりがな
お名前

連絡先 〒

(自宅・会社)

TEL

FAX

ご寄付内容 ※支援先(施設名、事業名)を具体的にお書きください。

- () として () □ 寄付します。
- 海外協力事業に () □ 寄付します。